

記載例

裁判所からあなたにお送りした訴状や口頭→令和 ○ 年 (ワ) 第 ○○○ 号
弁論期日呼出状に記載されている事件番号 原告 春 川 夏 美
と当事者名を書いてください。 被告 秋 川 冬 男

仙台地方裁判所 第○民事部 御中

答弁書の作成日 → 令和 ○ 年 ○月 ○日

答 弁 書

(該当する□にレ点でチェックしてください。)

1 あなたの住所(所在地) ←あなたの住所、氏名、電話番号等を書き、氏名の横にあなたの認め印を押してください。被告が
〒 ○○○ - ○○○○ 会社であるときは、会社の所在地、会社名、電話番号等を書いた上、代表者印を押してください。
宮城県塩釜市本町○丁目○番○号

2 あなたの氏名(会社名・代表者名)

秋 川 冬 男 (印)

TEL ○○○ - ○○○ - ○○○○

FAX ○○○ - ○○○ - ○○○○

3 送達場所等の届出 ←あなたに対して裁判所から書類を送る場合にどこに宛てて送ってほしいか、希望する場所の□をレ点でチ
ェックしてください。以後あなたに対する書類はこの届出場所に宛ててお送りすることになります。

上記住所等

勤務先 名称 _____

住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____

その他の場所 住所 〒 ○○○ - ○○○○

仙台市青葉区中央1-2-○

氏名 秋 川 冬 郎 (あなたとの関係) 父

TEL ○○○ - ○○○ - ○○○○ FAX ○○○ - ○○○ - ○○○○

4 「請求の趣旨」に対する答弁

「1 原告の請求を棄却する。2 訴訟費用は原告の負担とする。」
との判決を求める。

→請求に応じる意思がない場合または請求に応じる意思はあるが無条件では応じられない場合(例えば、
分割払の和解を希望する時等)は、「1 原告の請求を棄却する。」という答弁になります。訴訟費用と
は、原告が裁判所に納めた申立手数料や証人に支払う旅費などのことです。弁護士費用は含まれません。

5 「請求の原因」に対する答弁

① 訴状に「請求の原因」として記載されている事実について

全て間違いありません。

第（ 1 ）項は認めます。

第（ 3 ）項は間違っています。

〔 弁済期は第3項記載の時期ではなく令和〇年〇月〇日です。〕

←書かれてあることに間違いがあると思う場合には、「第〇項は間違っています。」□をレ点でチェックし、どの部分がどう間違っているかを、項目ごとに簡単に書いてください。

第（ 2, 4 ）項は知りません。

〔 第2項及び第4項の事実を知りません。借用書に署名押印したのは私ではなく私の妻です。お金は妻が借りたものです。〕

←書かれてあることにあなたの知らない部分がある場合には、「第〇項は知りません。」の□をレ点でチェックし、知らない部分はどこかを、項目ごとに簡単に書いてください。

② 私の言い分は次のとおりです。

〔 ←前記のほかに、訴状に記載された原告の言い分に対して言い分がある場合には、その言い分を簡単に書いてください。〕

※書ききれないときは、該当欄に「別紙のとおり」と記載して別紙を利用してもかまいません。

6 話し合いによる解決（和解）を希望します。 ←話し合いによる解決を希望する場合には、この□をレ点でその場合、

分割支払を希望します。

←和解の条件について考えていることがあれば、□をレ点でチェックし、

① 1か月 _____ 〇万 _____ 円ずつ

例えば、分割払を希望する場合は1か月に支払える金額を、一括払を

② 支払開始日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から 希望する場合はいつ支払うかを書いて

□令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日に一括で支払うことを希望します。 ください。

話し合いによる解決（和解）を希望する理由は、次のとおりです。

〔 私は、〇〇証券会社に勤務しているが、妻が原告から借りた金員を娘の入院費に使い、12月のボーナスで一括返済するつもりであった。しかし、昨年の不景気でボーナスの支給はなかった。私の手取り収入は、月25万円だが、他のローン会社の負債も入れると、1か月の生活関連支出は2.2万円である。〕

←前記のような和解を希望する理由（現在のあなたの経済状態など）を書いてください。